

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年5月14日

事業所名 オールケア山田東

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用児に合わせてマットの配置などを行っている	動線確保を考えながら、状況に応じた環境整備を進めます
	2 職員の配置数は適切である		○	専門職員の基準は満たしております。	より充実した支援となるように人材確保に努め、専門性を高めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差なく出入り、過ごせる空間となっています。	さらに過ごしやすい環境、情報伝達の配慮に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用児に合わせて物の配置を考え、動線確保しています。	更に安全安心して過ごしていただけますように、配慮続けます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		年間、月間目標を定め取り組むようにしている。	日々の意識を高め、振り返り、質の向上に努めます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施し、意向の把握、業務改善に	保護者の意向をふまえて、迅速に改善をはかります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公開しております。	毎年ホームページに公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者機関の設置はないが、内部監査、部署間等での改善をはかっています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、法人内研修に参加している。	独自の研修機会を増やして、人間性の向上を目指します。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		細かく話を聞き取るようにしている。	状況の聞き取りを行い、よりニーズや課題に近づいた計画、支援を行います。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	利用開始時に決まった書式でのアセスメントを記入している。	標準化されたツールは使用していないが、同一書式の使用で同じ質問で理解を深めている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		モニタリングにてニーズを理解し必要な項目を選ぶようにしている。	ご家族のニーズをしっかりと聞き取り、具体的な支援内容となるように努めます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			担当者がしっかりと関わり更なる理解へつなげるようにします。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者中心ではあるが、全体への発信、意見を取り入れている。	個々の考えを活かし、まとめられるように立案していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ遊びを好む児童もいるが、新しい事も試していく。	各児童に合わせてながら、新しい活動も取り入れていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		保護者にもニーズ確認をしながら、行っている。	個々の状況に合わせて、体調管理と遊びの工夫を進めます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昨日の終礼項目、本日の確認を行うようにしている。	シフト勤務のため少ない職員でのスタートもあるので、揃った時、利用児到着時に確認を繰り返している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		必ず行うようにしています。	その日の振り返りを行い、保護者と職員間での共有に努めています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡ノート、終礼議事録にて行っています。	それぞれの記録を活かして、月間記録に残して確認している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		体調変化のある時にはこまめに連絡確認を行うようにしています。	モニタリングまでに児童の変化現状をまとめ、ご家族との見直し提案していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本は児発管が参加している。	相談支援事業所からの問い合わせには、各職員にも対応してもらおうようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて行うようにしています。	今後も情報共有をしております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて行うようにしています。	今後も必要に応じて連携を図ります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医の指示書を確認しながら、必要に応じて各機関と連携を図っています。	今後も主治医意見書を確認しながら、必要な情報共有をします。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		そのような移行支援がありませんでした。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて学校との会議も行っていきます。	必要に応じて情報の提供、共有を進めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナ禍でほぼ研修等はないが情報共有はしている。	今後も研修等参加して、助言や相談を受け、利用児に反映させます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今期はできませんでした。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		回数は少なく、中止も多くありましたが、今後も積極的に参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		デイでの様子を送迎時にお伝えし、積極的に聞き取りをしている。	送迎時、連絡ノート等利用し情報共有の機会を有効に活用します。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	それぞれのお困りごとは気を付けて聞き取りをする。	ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者からの要望相談にすぐに応じ、困りごとなか気をつけます。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に契約書、重要事項説明書等により説明している	今後も必要に応じて、追加説明するように努める	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		事前の聞き取りに気を付けている。	書面作成し説明を行い、同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ちょっとした発信を逃さないように気を付ける。	些細なことでもこちらからのお声掛けをして、確認している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	個別案件について経験あるご家庭を繋ぐ事は行っております。	父母の会等の活動はありませんが、今後行事当のお誘いをしてお顔合わせができるようにしたいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		できる限り速やかな対応をこころがける。	苦情時には特に迅速な対応をこころがける。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		機関紙にて活動の様子をお伝えしている。	ホームページでの発信を増やすことと、個別の活動の様子のお知らせ方法についても検討します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分に気を付けている。	資料、情報ツールに合わせて管理徹底します。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用児、ご家族それぞれに合わせた配慮をしている。	常に確認を行い、対応の共有を心がけていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今期は行えませんでした。地域活動と連携をしていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		内容更新していきます。	内容更新し、ご家族にお伝えできるようにいたします。実施訓練についてのご報告もいたします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的な訓練の内容も、より充実できるようにいたします。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始時に書式記入にて確認しています。	定期的な内容確認更新をいたします。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	名札にてアレルギーが分かるように表示している。	指示書への直接の記入はないが、ご家族より確認し対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット改善提案として書式を用意している。	口頭のみで終わらせないように改善し、残していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		身体拘束も合わせて検証会議を行っています。	外部研修に参加した職員が、事業所にて他の職員に研修をおこないます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		きちんと記入します。	作成時に説明し同意を得るようにしています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2021年5月14日

事業所名 オールケア山田東 保護者等数(児童数) 6 回収数 6 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4			1	未回答1	利用状況に合わせて配置をし、安全な環境整備に努めています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3	1		2		より良い支援ができますように、引き続き人材確保、育成に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4			2		バリアフリーで特性に合わせた環境作りを心がけているが、さらにわかりやすく情報伝達等の配慮に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4			2		毎日の清掃、消毒を徹底し清潔を保ち、さらに楽しめる空間作りにも努めます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	5				未回答1	より良い支援計画となるように日頃からニーズや課題について申し送り等で把握していくように努めます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		1		それぞれに適切な支援計画となるようにしっかりと検討、提供していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1			未回答1	支援内容を共有理解し個々に沿った支援に努めます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5			1		日々楽しく新たな経験もしていただけるように工夫を続けます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1		1	4	コロナが問題になっていて仕方ない	今年度はできませんでしたが、以前からの地域公民館との関わり、児童館の利用も計画していきます。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	6					これからも丁寧に説明をします。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	6					早めにモニタリングを行い、分かりやすい説明を心がけます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	3			3		ご家族の思いを聞き取り、より必要な支援の提供を目指します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6					送迎時や連絡ノートを使い、詳しく情報伝達、共有し理解を深めます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4	1			未回答1	相談しながら定期的な面談時間を持ち、寄り添った支援につなげます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	1	1	1		個別の相談ではあるが、経験された保護者とのつながりを持てるように橋渡しができた。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5	1				より迅速な対応、相談申し入れに丁寧にお応えしていけるように問題点と改善策の検討に努めます。
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5			1		それぞれに合わせて配慮したコミュニケーションを心がけています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5			1		機関紙やホームページでの発信内容を充実させるように努めます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	5		1			管理の徹底、強化に努めます。
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2	1		3	防犯対策がなされているか、わからない	それぞれの対策についての説明、訓練の計画、実施に努めます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1			5		行った訓練情報を発信し、情報共有して参ります。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	6				迎えに来てもらうとニコニコしている	これからも楽しく過ごしてもらえる運営を行います。
	23	事業所の支援に満足している	5	1				満足していただけるように考え、努力いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年5月14日

事業所名 オールケア山田東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用児に合わせてマットの配置などしている	動線確保を考えながら、状況に応じた環境整備を進めます
	2	職員の配置数は適切である		○	専門職員の基準は満たしております。	より充実した支援となるように人材確保に努め、専門性を高めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差なく出入り、過ごせる空間となっています。	さらに過ごしやすい環境、情報伝達の配慮に努めます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		年間、月間目標を定め取り組むようにしている。	日々の意識を高め、振り返り、質の向上に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施し、意向の把握、業務改善に	保護者の意向をふまえて、迅速に改善をはかります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公開しております。	毎年ホームページに公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者機関の設置はないが、内部監査、部署間等での改善をはかっています。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、法人内研修に参加している。	独自の研修機会を増やして、人間性、専門性の向上を目指します。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		細かく話を聞き取るようにしている。	状況の聞き取りを行い、よりニーズや課題に近づいた計画、支援を行います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	利用開始時に決まった書式でのアセスメントを記入している。	標準化されたツールは使用していないが、同一書式の使用で同じ質問で理解を深めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者中心ではあるが、全体への発信、意見を取り入れている。	個々の考えを活かし、まとめられるように立案していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ遊びを好む児童もいるが、新しい事も試していく。	各児童に合わせてながら、新しい活動も取り入れていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日はゆっくりと過ごすことができないので、休日、長期休暇に楽しめる支援を設定するようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者にもニーズ確認をしながら、行っている。	個々の状況に合わせて、体調管理と遊びの工夫を進めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昨日の終礼項目、本日の確認を行うようにしている。	シフト勤務のため少ない職員でのスタートもあるので、揃った時、利用児到着時に確認を繰り返している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		必ず行うようにしています。	その日の振り返りを行い、保護者と職員間での共有に努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡ノート、終礼議事録にて行っています。	それぞれの記録を活かして、月間記録に残して確認している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		体調変化のある時にはこまめに連絡確認を行うようにしています。	モニタリングまでに児童の変化現状をまとめ、ご家族との見直し提案していきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		複数の楽しめる内容を盛り込むようにしている。	今後、総則の内容に添いながら、希望に沿った支援を行います。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本は児発管が参加している。	相談支援事業所からの問い合わせには、各職員にも対応してもらうようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて行うようにしています。	今後も必要に応じて連携を図ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医の指示書を確認しながら、必要に応じて各機関と連携を図っています。	今後も主治医意見書を確認しながら、必要な情報共有をします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて各事業所と連絡を行っています。	必要に応じて情報の提供、共有を進めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて移行事業所との会議も行っています。	必要に応じて情報の提供、共有を進めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナ禍でほぼ研修等はないが情報共有はしている。	今後も研修等参加して、助言や相談を受け、利用児に反映させます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		この1年はコロナ禍で難しかったですが、今まででもそのような機会は作っていましたので、計画していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			回数は少なく、中止も多くありましたが、今後も積極的に参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		デイでの様子を送迎時にお伝えし、積極的に聞き取りをしている。	送迎時、連絡ノート等利用し情報共有の機会を有効に活用します。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		それぞれのお困りごとは気を付けて聴き取りをする。	ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者からの要望相談には随時対応し、困りごとないか気を付けます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に契約書、重要事項説明書等により説明している	今後も必要に応じて、追加説明するように努める
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ちょっとした発信を逃さないように気を付ける。	些細なことでもこちらからのお声掛けをして、確認している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	個別案件について経験あるご家庭を繋ぐ事は行っております。	父母の会等の活動はありませんが、今後行事のお誘いをしてお顔合わせができるようにしたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		できる限り速やかな対応をこころがける。	苦情時には特に迅速な対応をこころがける。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		機関紙にて活動の様子をお伝えしている。	ホームページでの発信を増やすことと、個別の活動の様子のお知らせ方法についても検討します。
	35	個人情報に十分注意している	○		十分に気を付けている。	資料、情報ツールに合わせて管理徹底します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用児、ご家族それぞれに合わせた配慮をしている。	常に確認を行い、対応の共有を心がけていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今期は行えませんでした。が、地域活動と連携をしていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		内容更新していきます。	内容更新し、ご家族にお伝えできるようにいたします。実施訓練についてのご報告もいたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的な訓練の内容も、より充実できるようにいたします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		身体拘束も合わせて検証会議を行っています。	外部研修に参加した職員が、事業所にて他の職員に研修をおこないます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		きちんと記入します。	作成時に説明し同意を得るようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		名札にてアレルギーが分かるように表示している。	指示書への直接の記入はないが、ご家族より確認し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			ヒヤリハット改善提案、事故報告書としている。	口頭のみで終わらせないように改善し、残していきます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:2021年5月21日

事業所名 オールケア山田東

保護者等数(児童数) 23

回収数 23

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	3			他のデイを知らないのでは うなのでしょう。	利用児の状況に合わせたス ペース確保のため物の配置 を行っております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1				配置基準は満たしております が、更なる支援のため人材 確保に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設 置などバリアフリー化の配慮が適切になさ れているか	22	1				安全に過ごせる配慮を続け ます。
適切 な支 援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計 画*1が作成されているか	20	3				しっかりと聞き取りをして共有 できる計画作成に努めます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫さ れているか	19	4				新しい活動を取り入れ、楽し める工夫を進めます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか	7	8	8		わかりません。 なくていいと思います。	コロナ禍で地域活動ができま せんでした。機会を設けてい きます。
保護 者へ の説 明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	21	2				より丁寧な説明をして参りま す。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解ができているか	22	1				送迎時、連絡ノートを活用し て、共有理解を深めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言 等の支援が行われているか	14	9			悩み事などの相談にいつも 丁寧にコメント嬉しいです。	ご家族との連絡を密にとり、 話す機会を増やしていきま す。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	7	10	7		コロナ禍で難しかったと思 います。 参加していないのでわから ず。	個別にご希望のあった内容 について、経験あるご家族と 連携をとり、情報を繋げる事 ができました。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応しているか	18	4			未回答1 苦情をしたことがないので わかりません。	より迅速、適切であるように、 問題点と改善策の検討に努 めます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	21	2				それぞれの状況に合わせた 配慮を心がけてまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信しているか	22	1			ホームページチェックしてま せんでした。	機関紙の充実やホームペー ジでの発信も増やしていきま す。
	14 個人情報に十分注意しているか	21	2			配慮ありがたいです。 どのようにされているのか よくわからず。	資料、物、情報ツールに合わ せて徹底いたします。
非常 時等 の対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、保護者に周 知・説明されているか	21	1				定期的なマニュアルの見直 し、発信を行うようにいたしま す。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	12	9	1		未回答1 避難訓練されているの か?	行った訓練の内容発信し、情 報共有して参ります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23				デイに慣れてきて最近楽し そうに帰ってきます。	これからも楽しめる運営をし ます。
	18 事業所の支援に満足しているか	23				皆様優しいです。 よくしてもらい感謝していま す。	満足していただけるように 日々努力を続けます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。